

「どんなことについてどのようにまとめるのか」を示して、考えをまとめる学習を設定しましょう。

小・中全学年で適用可能

学年・領域	第3学年・読むこと
単元	ありの行列
実施時期	1月頃

読むこと：「ありの行列」教科書 下(P.95～)

【これまでの学習との関連】

- ・「言葉で遊ぼう・こまを楽しむ」教科書 上(P.58～)
- ・「すがたをかえる大豆」教科書 下(P.49～)

【学習活動】

1 単元の目標を確認し、これまでの学習で読み深めてきたことを確認する。

2 本時の課題と課題達成の姿を確認する。

「ありの行列」や「もっと読もう」を読んで、引き付けられたことや、もっと知りたいこと、考えたことを書こう。

3 「もっと読もう」を読む。

4 「ありの行列」と「もっと読もう」を読んで引き付けられたことや、もっと知りたいと思ったこと、考えたことを書く。

※ 文章を書く前にペアで話す活動を入れることも、考えを明確にする点で有効です。

5 本時の学習を振り返る。

【学習活動4において】「どんなことについてどのようにまとめるのか」を示す



「ありの行列」や「もっと読もう」の文章で引き付けられたことを、文中の言葉を使って詳しく話してみましょう。

「ありの行列」を学習してきて、ありが「とくべつのえきを出すこと」の部分に引き付けられました。液のにおいをかいて歩くことで、行列ができることに驚きました。



Aさん

そのことと、自分の体験や知っていることをつなげて、もっと知りたいことや考えたことを、詳しく書きましょう。



「感想」に書くこと

- ・「ありの行列」や「もっと読もう」を読んで引き付けられたこと。
- ・自分の体験や知っていること
- とつなげて、もっと知りたいことや考えたこと。

ありました。とあるのか、知りたくなりました。すじが三つにふえたりするこで、列が二列に分かれたり、道きもあると書かれていたのも、いくつかのにおいのあるえきもあると書かれていたのにも、道しるべになるえきの他に、とくべつのえきが、道しるべになっっているから、まよわずに進めるのだと思いました。ありの行列を見たとき、ありどうしがぶつかったり、まちがえて、ちがうすに入ったりしないのかなと思っていたけれど、とくべつのえきが、道しるべになっっているから、まよわずに進めるのだと思いました。

Aさんの感想

わたしは、「ありの行列」を読んで、「ありがとくべつのえきを出すこと」に引き付けられました。

どうしてこの指導が大切なのか

教師が「どんなことについてどのようにまとめるのか」を示して指導することで、子どもたちの理解したことに対する考えが、一層深まっていくからです。

「学習（単元）のまとめ」との関連

学習のまとめとして文章を書くことはとても大切です。「自分の体験と結び付けて書く」、「もっと知りたいと思ったことを書く」、「印象に残った場面とその理由を書く」、「〇〇字で書く」、「初め・中・終わりで書く」など、何をどう書くのかを具体的に示すことで、「考えを形成」する力を育成します。

